

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(1)

重点取組	生活習慣病予防からはじめる健康づくり
目標	生活習慣病を予防するために、健診受診率の向上、保健指導の充実、普及啓発、環境整備、市民との協働を推進します。
主な取組	①特定健診・各種がん検診等受診率の向上と特定保健指導の充実 ②特定健診・保健指導の体制整備の支援と実務者の育成 ③禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進 ④糖尿病対策の推進 ⑤健康づくりに関する知識の普及啓発
実施主体	市、保険者、保健所、医師会、薬剤師会、歯科医師会、地区組織

実施主体	平成30年度の 主な取組	平成30年度の実績(見込)
人間地区医師会	①	〇各種がん検診の精度管理向上のため、必要に応じ担当理事を中心に判定委員会を開催し調整会議を開催。
人間地区医師会	①	〇特定健診・各種がん検診等の受診率向上のため、会員医療機関において各種健診等の実施。
人間地区医師会	①	〇各種啓発、PRポスター等の医療機関への積極的な掲示。
飯能地区医師会	①	飯能市は県下40市中で5年連続でトップになりました。(H29年度)
狭山市(保健センター)	①	(1) 特定健康診査等(1月末の見込み) ・生活保護対象者等健康診査 対象者707人 受診者110人 受診率15.6% ・30歳代健康診査 受診者183人 実施方法 個別健診 : 特定、後期高齢者、生活保護等健康診査は、市内指定医療機関で実施。 集団健診 : 特定と30歳代健診を保健センターで25回/年実施。
狭山市(保健センター)	①	(2) がん検診等(1月末の見込み) ・胃がん検診 個別検診 4,535人 / 集団検診 311人 ・肺がん検診 個別検診 16,654人 / 集団検診 912人 ・大腸がん検診 個別検診 10,560人 / 集団検診 1,155人 ・前立腺がん検診 個別検診 330人 / 集団検診 63人 ・肝炎ウイルス検診 個別検診 920人 ・乳がん検診 個別検診 2,985人 / 集団検診 447人 ・子宮がん検診 個別検診 頸部1,258人・頸体部 1,412人 ・成人歯科健診 個別検診 824人

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
狭山市(保健センター)	①	(3)特定保健指導の充実(1月末現在) 特定保健指導対象1,021人 利用者147人 利用率14.4%(特定保健指導は9月から翌年4月まで実施) 周知方法:健診結果とともに、相談・教室の案内一覧を情報提供として配布。40歳からの対象者に保健指導案内と保健指導利用券を個別に送付。その後、電話による勧奨を行い、さらに、未利用者に、はがき等通知による勧奨を行っている。平成30年度の新たな取り組みとして、保健センターの集団健診時に初回面接を分割で実施。(56人に実施)
狭山市(保険年金課)	①	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券と合わせてがん検診の受診案内を送付(送付件数30,805通) ・電話での受診勧奨(40歳到達者や連続未受診者を対象。架電件数1,202人) ・ハガキでの受診勧奨(前年度新規受診者や連続未受診者を対象。送付件数3,259通) ・健診PR(広報紙、ポスター、市ホームページ、市役所庁舎内コミュニケーション) ・事業者健診の健診会場で健診結果提供の呼びかけ ・特定健診実施指定医療機関で医療機関からの受診勧奨
所沢市	①	<p><特定健診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査等受診勧奨事業実施計画を策定し、特定健診受診期間の中間となる9月と期間終了間際の1月を強化月間と定め、多角的なアプローチによる受診勧奨事業を実施した。 (1)ハガキによる受診勧奨(9月、1月、2月) (2)未受診者への、ハガキ送付並びに送付直後の電話勧奨による受診勧奨(1月～2月) (3)各種メディアを通じた啓発活動事業(広報、各医療機関でのポスター等掲示、医療費通知、ケーブルテレビCM等) (4)各種イベント等における関係各課と連携した啓発活動事業(健康まつり、食育月間イベント等) (5)啓発バッチ装着 (6)30歳代健診(申し込み制)の実施による、若年層からの健診習慣の醸成 <p>[特定健診受診率実績]</p> <p>平成28年度特定健診受診率 : 38.7%</p> <p>平成29年度特定健診受診率 : 39.5%</p> <p>平成30年度特定健診受診率(見込) : 39.5%</p>
所沢市	①	<p><特定保健指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導事業案内発送時の個別の健診結果を活用した丁寧な情報提供 ・特定保健指導事業の内容の改善(気軽に参加できる講座として、健診結果説明会を新設) ・保健師による訪問・電話による特定保健指導未利用者勧奨事業 ・特定保健指導未利用者勧奨を目的に、講習会等を開催し、対象者へハガキによる勧奨を実施 <p>[特定保健指導利用率実績]</p> <p>平成28年度特定保健指導利用率 : 8.5%</p> <p>平成29年度特定保健指導利用率 : 12.4%</p> <p>平成30年度特定保健指導利用率(見込) : 16.2%</p>
所沢市	①	<p><がん検診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・40・50・60・70歳の市民に各種検診の案内と切手不要の申し込みはがきを送付。発送件数:19,699件
入間市	①	商業施設を利用して健康相談を実施し、特定健診・各種がん検診の受診勧奨及び特定保健指導のPRを実施 11回/年 (参加者 884人)
入間市	①	特定保健指導を一部業者委託し、保健指導の利用勧奨方法及び実施方法の見直しを行い利用率の向上に努めた
入間市	①	生活習慣病、メタボリックシンドローム、各種がんに関する知識の普及をし、特定健診・各種がん検診等の意義及び必要性の周知

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
入間市	①	各種封筒へ受診促進文書を印刷し健(検)診受診をPR
入間市	①	FMラジオ、ケーブルテレビ、HP、市広報紙での受診勧奨
入間市	①	特定健診受診強化月間を定め啓発ポスターの掲示や啓発物(ポケットティッシュ)を配布し、健診受診をPR
入間市	①	市庁舎・医療機関・商業施設・工業団体に受診勧奨ポスター及びチラシの窓口配布
入間市	①	受診率の低い地区に特定健診実施の早い段階で受診勧奨チラシの回覧
入間市	①	未受診者に対して受診勧奨通知を送付
飯能市	①	○特定健診の実施 ・地区医師会と連携した特定健診の実施
飯能市	①	○特定保健指導は市直営で実施(健康づくり支援課) ・特定保健指導に関する埼玉医科大学との共同研究(メタボリックシンドローム効果判定事業)を実施した。 ・特定保健指導未利用者に対し、電話勧奨、再通知、訪問による勧奨(特定保健指導の実施)を行った。 ・特定保健指導開始時にインセンティブの提供を行った(訪問により開始した方を除く)。
飯能市	①	○がん検診の実施 ・集団がん検診の実施(16日間、11会場) ・女性限定日(2日)、うち1日は骨そしょう症検診と同時に実施 ・ほぼ全日程で複数のがん(胃・肺・大腸・乳)を1日で受診可能として実施 ・がん医療機関検診の実施
飯能市	①	○肝炎ウイルス検診の医療機関での実施 ・前立腺がん検診と同様に特定健康診査と同時受診が可能。同時受診の場合の一部負担金は診察料、採血料分を単独受診よりも低額とした。
飯能市	①	○18歳から39歳までの方の健康診査の医療機関での実施
日高市	①	特定健診(飯能地区医師会に業務委託)・・・受診率:平成29年度45.0% 特定保健指導(市直営)・・・実施率:平成29年度8.8%
日高市	①	各種がん検診の実施・・・広報・ホームページ・個別勧奨通知等による啓発普及。集団検診では複数のがん検診を同日実施。個別検診(医療機関検診)の実施。 受診者数(30年12月末現在):肺がん集団10回821人、肺がん個別245人、胃がん集団7回574人、子宮がん集団9回286人、子宮がん個別230人、乳がん集団9回399人、乳がん個別207人、大腸がん検診20回1,362人、前立腺がん1回139人、前立腺がん個別85人
日高市	①	がん検診推進事業の実施・・・子宮がん20歳、乳がん40歳の人に無料クーポン券を送付。未受診者に対して勧奨通知の実施。 受診者数(30年12月末現在):子宮がん集団9回0人、子宮がん個別6人、乳がん集団9回27人、乳がん個別27人
日高市	①	肺がん・結核検診と大腸がん検診を同時に受診することができる特定健康診査の集団健診を年4回実施

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
日高市	①	特定健康診査について周知、PR(広報紙年2回掲載、HP掲載、ポスター作成し公共施設及び医療機関等での掲示、受診券送付時に市オリジナルパンフレット同封、商工会やJAなど地域団体へチラシ配布、健康まつり及び市民まつりでのPR)
日高市	①	特定健康診査受診期間を12月末から3月末へ延長
日高市	①	特定健診未受診者勧奨(勸奨はがき送付1回目9,021件、2回目7,732件、電話勸奨10月～2月末まで実施) 特定健診受診者に対する健康ポイントの付与。特定健診受診者に実施医療機関でチラシを配布してもらい保健指導のPRを実施。特定保健指導対象者に対する電話勸奨。
日高市	①	初めて特定健康診査を受けた60代ヘインセンティブによる受診勧奨
日高市	①	特定保健指導に関する埼玉医科大学との共同研究の実施
狭山市医師会	①、②	特定健診、がん検診に於いては受診率向上に努め未受診者には医療機関での案内等を図る。
日高市	①②	特定健診及び特定保健指導について、ふじみ野市へ視察
狭山保健所	①②	・国保データヘルス推進事業データ活用研修会：年2回 H30.10.3 講義とグループワーク 参加者44人 H30.11.30 講義とグループワーク 参加者37人
狭山保健所	①②	・働き盛り世代の健康管理研修会：年1回(西部地区保健所合同) H30.12.18 事例報告と講義「食を活かした健康経営」参加者53人(管内9人)
狭山市(保健センター)	②	特定保健指導は、保健センター保健師・管理栄養士(臨時・嘱託含む)が保険年金課の兼務により実施している。研修は、保健所・国保連合会主催の研修会に参加している。
所沢市	②	・特定保健指導に関わる研修会には積極的に職員を派遣した。 ・体制整備の見直しのため、他市を視察し、情報収集を行った。
人間市	②	健康福祉センターで特定健診を受診した方で特定保健指導の対象となる可能性のある方に対し、その日のうちに保健指導を実施 予定85回/年(見込 240人)
飯能市	②	・特定保健指導の質の向上のため、スタッフ間カンファレンスを年10回行い、現状分析や課題解決のための検討を行った。
狭山市医師会	③	地域職域として企業従事者の健康相談等指導を行い産業医として事業所での健診等を行っている。
狭山市(健康づくり支援課)	③	平成30年度は実施なし(2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの競技会場となっていることから、他関係市町村と協議し、受動喫煙防止対策を検討中)。
狭山市(保健センター)	③	・乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間に、乳幼児の受動喫煙防止キャンペーンを実施。 ・既存の保健関連事業において、喫煙者へ禁煙支援を実施。 ・母子健康手帳交付時に、禁煙相談及びパンフレットの配布を実施。 ・禁煙外来や禁煙支援薬局等、禁煙相談ができる医療機関を紹介している。
所沢市	③	・希望に応じて健康相談や健康教育も実施できる旨をチラシ等で周知を図っている。 ・市内に全戸配布している「健康ガイドとこざわ」及びホームページに受動喫煙や喫煙の影響、日本禁煙学会の「禁煙治療に保険が使える医療機関」のリンクを掲載する等禁煙に関する情報提供を行った。 ・保健センターのがん検診会場、市役所に禁煙週間用のポスターの掲示を行った。

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
入間市	③	5月31日の世界禁煙デーに合わせ健康被害の普及啓発キャンペーンを実施した。また、乳幼児健診や講座等の機会に知識の普及啓発及び情報提供の実施
飯能市	③	○保健事業(両親学級・母親学級)における喫煙リスクの周知、特定保健指導の実施
飯能市	③	○妊娠届出・母子健康手帳交付時の禁煙相談・パンフレットの配布
狭山保健所	③	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策の推進(認証施設650施設) ・改正健康増進法に適切に対応するためH30年8月～11月に飲食店における受動喫煙防止対策の実施状況に関するアンケートを実施。 ・健康増進法の改正により受動喫煙防止に関する新たな認証制度が平成31年度に開始予定。それに伴う対応を進める。 ・その他住民や事業所等からの相談に随時対応した。
狭山市医師会	④	検診等による早期予防に取り組み指導を図る。予防教室等の講演などを実施する。
入間地区医師会	④	○市とタイアップし糖尿病性腎症重症化予防事業(県共同事業)を実施。
入間地区医師会	④	○「入間市糖尿病を考える会」などの勉強会を継続的に開催。
飯能地区医師会	④	糖尿病腎症にも積極的に協力しています
狭山市(保健センター)	④	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室 特定保健指導対象外の教室として、糖尿病予防教室を1コース6回、実施期間3ヶ月間、延べ66人に実施。周知・受講勧奨:国保の特定健診の結果、保健指導判定値以上の方のヘモグロビンA1c5.9から7.9の方に事業案内を個別通知し、受講勧奨。また、広報で広くPR。 内容:血液検査を1回目・5回目の2回行い、教室での取り組みを評価している。 ・非肥満高血糖者を対象に健康講座を実施。定員60人
所沢市	④	・埼玉県による「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防止した。また、過年度の保健指導修了者のうち、希望者へのフォローアップとして継続支援を実施した。
入間市	④	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症で通院中の患者への保健指導(腎症の病期:2期の場合は保健指導4回、参加者11人)(腎症の病期:3期4期または不明の場合は保健指導7回、参加者3人) ・糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導修了者への継続支援(保健指導2回、参加者5人) ・特定健診結果の糖尿病関係異常値放置者への医療機関への受診勧奨(通知書発送1回目、対象者203人・通知書発送2回目(1回目の勧奨後受診していない)、対象者117人)(電話による勧奨1回目、対象者49人・電話による勧奨2回目(2回目の通知による勧奨対象者)、対象者26人) ※電話による勧奨は電話番号が判明した人のみ対象
飯能市	④	○個別相談 ・健康相談(年12回)、栄養相談(42回)の実施
飯能市	④	○集団健康教育 ・栄養学セミナー(年6回)、血糖値改善教室(年1回:7回コース)の実施
日高市	④	生活習慣病予防相談の実施年40回・・・利用者数(30年12月現在)28回97人
日高市	④	生活習慣病重症化予防事業の実施(7名指導)
狭山市医師会	⑤	市民公開講座等、健康づくりへの普及啓発に努める。

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
所沢市・医師会	⑤	市民公開講座の開催 参加者 117名
所沢市・医師会	⑤	健康まつり 市民来場者 1,803名 医師会ブース健康相談 42名 医師会主催講演会開催 参加者 61名 血圧測定 77名
入間地区医師会	⑤	○健康づくりに関する講演会、イベントへの医師の派遣。
入間地区医師会	⑤	○各種啓発、PRポスター等の医療機関への積極的な掲示。
飯能地区医師会	⑤	18歳から39歳の健康診査を個別で実施しています。
狭山市(健康づくり支援課)	⑤	健康づくり講演会 開催日時:平成30年12月8日(土)13時開演 会場:狭山市民会館大ホール 講演内容:「すべての人に健康を!生活習慣病予防と看護」講師:西武文理大学看護学部看護学科 教授 神庭純子氏 参加者:283人
所沢市	⑤	・食育月間イベント(6月)、健康まつり(11月)等の各種イベント会場に於いて食育・生活習慣病予防関連情報の掲示と相談を実施した。 ・歯と口の健康週間行事(6月)健康増進普及月間イベント(9月)健康まつり(11月)等の各種イベント会場に於いて食育・生活習慣病予防関連情報の掲示と相談等を実施した。 ・地域住民・団体から依頼を受け健康教育を実施した。加えて、職域の分野においても、市の保健事業の活用を利用してもらえるよう、情報誌を作成し、労働基準協会の機関誌に同封する等して市内の200事業所に情報を提供している。
入間市	⑤	健康づくりの知識の普及啓発として「生活習慣改善セミナー」を実施 2回/年 (参加者 71人)
入間市	⑤	各地区公民館に於いて健康アップ教室の実施 15回/年 (参加者 見込120人)
入間市	⑤	小・中学校、自治会、老人会等への講師派遣による健康教育の実施 予定70回/年 (参加者 見込1000人)
入間市	⑤	高血圧者に対する医療機関への受診勧奨(通知書発送1回、対象者169人)
入間市	⑤	ジェネリック医薬品差額通知書の発送(平成30年10月発送[平成30年7月診療分対象]、543件)、(平成31年3月発送予定)
入間市	⑤	健康レベルアップキャンペーンの実施(平成30年5月22日～5月25日開催(延べ199人)
入間市	⑤	生活習慣病予防啓発用ポスターの配付(323枚)
入間市	⑤	食生活カレンダーの配付(1,000部)
入間市	⑤	各種パンフレットの配付(「糖尿病の重症化を予防するために」「健康バランス食生活」「今日からできる認知症予防」、各1,000部)
飯能市	⑤	・「はんのう健康まつり」を開催した(830名)。

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
日高市	⑤	各種健康教室の実施・・・運動や食事に関する各種健康教室を実施。公民館と協同開催することで参加者増加に努める。 「生き生き健康ウォーキング」を実施(コバトン健康マイレージ事業と合わせて実施。半年間ウォーキングを継続し、その前後に血液検査・体力測定を行い、埼玉医科大学に分析を委託)。
狭山保健所	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・給食施設講習会： 講義と塩分測定 H30.6.20 参加者131人 H30.8.9 参加者341人 H31.2.20参加者69人(予定) ・働き盛り世代の健康管理研修会： H30.12.18 塩分測定9施設 参加者9人 ・食生活改善推進員研修会： H30.10.29 講義「減塩のすすめ」とグループワーク、塩分測定 参加者68人 ・健康長寿サポーター養成研修： H30.5.29 258人 H30.10.18 18人
狭山保健所	⑤	・食品表示法に基づく栄養成分表示指導 22件
狭山保健所	⑤	・歯科口腔保健連携推進会議： H31.1.24 31人
狭山保健所	⑤	・健康づくり協力店の指定 H30年1月～2月 新規9件

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(2)

重点取組	小児救急医療
目標	休日や夜間においても、急病や事故に遭った子どもが必要な医療を適切に受けられるよう、小児救急医療体制の整備を進めます。また、子どもの急病に対する保護者の不安を解消するとともに、症状に応じた適切な受診について広報していきます。
主な取組	①小児救急医療体制の充実・強化 ②子どもの急病等に関する情報提供の強化 ③小児救急医療を検討するネットワークの機能強化
実施主体	医師会、医療機関、市、保健所、消防本部

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
狭山市(健康づくり支援課)	①	小児科第二次救急医療体制の再構築を支援するため、引き続き、日曜、休日、年末年始(12/29～1/3)の昼間に休日診療を行なった。また、狭山市・入間市合同で一週間を通して夜間の初期救急診療を行なった。
所沢市	①	・前年度に引き続き、夜間や休日に小児の初期救急医療が提供できるよう、小児夜間急患診療・小児深夜帯急患診療、小児科日曜日・休日急患診療などの診療を実施。 (小児夜間急患診療):日～土曜日 (小児深夜帯急患診療):日・火・水・金・土曜日 ・狭山保健所及び所沢地区(入間市・狭山市・所沢市)の担当市で「小児科救急輪番体制に関する調整会議」に出席し、課題の確認と情報共有を図った。 ・月曜日、第2日曜日及び第5日曜日が不在であった、小児科救急医療病院群輪番制事業について、平成31年1月より、埼玉石心会病院が、第2日曜日を担当することになった。
入間市	①	小児科二次救急医療体制の支援や夜間診療所の初期救急医療体制の充実を図るため、入間市夜間診療所を開設し、内科・小児科の診療を週4日(日曜・月曜・木曜・土曜)行っている。なお、狭山市との共同により、一週間を通じた夜間の初期救急医療体制を整備している。
入間市	①	小児科二次救急医療体制の月曜日が空白であるため、全ての曜日の診察体制が確保される様に積極的に働きかける。
入間市	①	入間市・狭山市それぞれが実施している休日夜間の初期救急医療については、相互利用が可能となっている。
飯能市	①	・休日・夜間診療所の運営を(一社)飯能地区医師会に委託して開設
日高市	①	初期救急医療体制については、休日・夜間診療所運営費を地区医師会へ助成。 第二次救急医療体制については、坂戸・飯能地区病院群輪番制病院運営事業に係る費用の助成。 日高市健康スケジュール、広報紙、ホームページに情報を掲載。
狭山保健所	①	①小児二次救急の輪番空白日解消のため、関係医療機関、医師会、市と調整を図るとともに、実務者による調整会議を実施した。
狭山市(健康づくり支援課)	②	市では、広報紙やホームページ等で、「子どもの急病時の電話相談」や「休日・夜間の救急診療体制」について、市民への周知を図った。
所沢市	②	・ところざわほっとメール(情報メール配信サービス)での情報提供を継続して実施。 ・小児急患診療に係るポスターと案内カードを市内109か所に配布。 ・広報ところざわに、毎月の休日及び夜間・深夜の診療情報を掲載。 ・引き続き、市内に全戸配布している「健康ガイドところざわ」に救急医療に関するページを設けて周知に努めたほか、市ホームページ等を通じて、埼玉県救急電話相談(#7119)の周知を図った。
入間市	②	救急電話相談(#7119)及び埼玉小児救急電話相談(#8000)について、市公式ホームページ、市公式モバイルサイト、広報いるま、保健情報誌「健康いるま」に情報を掲載している。

入間市	②	「県・子どもの救急ミニガイドブック」を市公式ホームページに情報を掲載している。また「新生児訪問」や「こんにちは赤ちゃん訪問」時(両者で全戸訪問)に同冊子を配布している。
飯能市	②	・健康カレンダー、広報紙、暮らしのガイドブック、子育てガイドブック、ホームページへの情報掲載 ・「飯能市ご当地アプリ」内の「子どもの健康ナビ」「ママフレ」を活用し、随時情報発信を行っている。 内容:スマートフォン等にアプリをダウンロードして利用。緊急時の医療機関、埼玉県救急電話相談等を素早く検索できる。他にも各種感染症情報等をリンクされている。 平成31年2月5日現在:利用登録者数1,521人(子ども1,800人)
日高市	②	県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を母子健康手帳交付時に配布。 県の救急電話相談#7119や小児救急電話相談については、広報紙やホームページに掲載、乳幼児健診時にカードを配布するなどしてPRしている。
狭山市(健康づくり支援課)	③	所沢地区の小児科二次救急医療体制の再構築を引き続き、入間市及び所沢市と共に狭山保健所に要請した。 【所沢地区小児科二次救急医療体制(平成31年1月末現在)】 火曜日・水曜日・第3日曜日昼間(入間川病院)、木曜日・土曜日(西埼玉中央病院)、金曜日・第2・第4日曜日昼間(埼玉石心会病院)、第1日曜日昼間(狭山厚生病院)週7日の診療体制 ※一部空白あり
所沢市	③	・市の小児初期救急医療の推進について総合的に協議するため、「所沢市小児初期救急医療推進ネットワーク協議会」を年2回(10月、1月)開催し、情報の交換、施策の提案等を行っている。 ・所沢地区小児科救急医療病院群輪番制事業等の協議を通じ、県及び所沢地区(所沢市、入間市、狭山市)間での関係強化に努めた。
狭山保健所	③	③所沢地区救急医療対策協議会で、救急医療体制等について協議等を行った。

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(4)

重点取組	親と子の保健対策
目標	妊娠期からの切れ目のない相談支援体制の強化とともに関係機関とのネットワークづくりを進めます。また、リスクの高い家庭への支援を徹底し、児童虐待防止に努めます。
主な取組	①妊娠・出産期からの相談支援体制の強化 ②未熟児等への専門職による家庭訪問の強化 ③児童虐待防止のための連携体制強化 ④思春期対策の推進 ⑤妊娠期からの小児歯科保健対策の推進
実施主体	市、保健所、医療機関、教育機関、児童相談所

実施主体	平成30年度の主な取組	平成30年度の実績(見込)
狭山市(保健センター)	①	妊娠・出産期からの相談支援体制の強化 母子保健型利用者支援事業として、保健センターに加え平成30年7月より本庁舎でも、妊娠届出時の面談を開始した。それにより、面談率が平成29年度の4割から平成30年度は9割となり、支援の必要な方への早期支援につながった。 妊娠届出時の面談数・・・884件 90% 特定妊婦・・・・・・・・・・・・ 87件 9%
所沢市	①	子育て世代包括支援センター(母子保健型)に3名の専門相談員を配置。妊娠・出産期における相談支援体制の充実を図った。妊娠届出時保健師未面談者に対して、マタニティコールを行い、全妊婦の把握に努めた。訪問については、新生児・妊産婦訪問及びこんには赤ちゃん訪問を実施している。
入間市	①	子育て世代包括支援センター(特定型・母子保健型各1か所)において妊娠届出・母子手帳交付時、アンケートを行い、専門職による面接を実施 随時 (見込 800人/年)
入間市	①	子育て世代包括支援センター間でのケース対応に関する定例会議の実施 12回/年
飯能市	①	子育て世代包括支援センターを設置し、原則、全員、妊娠届出時に保健師による面接を実施し母子健康手帳を交付した。
飯能市	①	妊娠届出から特定妊婦を把握し、個別支援の実施。
飯能市	①	周産期からの虐待予防による医療機関等からの連絡支援による訪問指導の実施。
飯能市	①	母親学級(3回×6クール)
飯能市	①	母親学級OG会(年6回)
飯能市	①	両親学級
飯能市	①	新生児訪問(乳児家庭全戸訪問事業)
日高市	①	母子保健利用者支援事業:平成28年9月から助産師を配置し事業を開始。妊娠届出時の面接や出産後間もない時期に電話相談を行うなど、妊産婦に対する相談支援を行っている。

日高市	①	妊婦・産婦訪問：保健師、助産師による家庭訪問を実施。パパ・ママ教室：年6コース(1コース5回)実施。
日高市	①	周産期からの虐待予防事業による医療機関からの連絡に対し母子保健担当課が訪問指導等を実施。必要時、虐待担当課と連携しケース支援にあたっている。
保健所	①	・妊娠期からの虐待予防強化事業看護連携会議の開催：年2回(平成30年11月26日 32人、平成31年3月11日) 参加者：管内産科医療機関及び助産所の助産師等、管内市保健センター及び児童福祉主管課職員 ・相談技術の基礎研修会の開催：年1回(平成31年3月8日) ～効果的な情報収集・アセスメントをするために～ 参加者：管内市及び保健所の保健師
狭山市(保健センター)	②	未熟児等への専門職による家庭訪問の強化 助産師・保健師による新生児訪問・・・447件 45%
所沢市	②	未熟児養育医療受給者に対し、申請時、主に地区担当保健師による面接を経て、母子への訪問指導を行った。ケースの必要に応じ、母の精神面へのフォロー、病院との調整、母の要望により、未熟児サロンの開催などを行っている。
入間市	②	未熟児訪問指導の実施(見込 36人/年)
飯能市	②	○未熟児養育医療受給者への訪問支援
日高市	②	未熟児訪問：保健師、助産師による家庭訪問を実施。 未熟児養育医療受給者へ地区担当保健師が訪問し、必要なサービスにつなげるなどの支援を実施。
保健所	②	・産後の母親のメンタルヘルス支援研修会の開催：年2回(平成30年5月31日 55人、平成30年10月16日 21人) 参加者：管内産科医療機関及び助産所の助産師等、管内市保健センター職員、新生児訪問等担当助産師
狭山市(保健センター)	③	児童虐待防止のための連携体制強化 特定妊婦受理処遇会議・・・年12回 延べ192人 要保護児童対策地域協議会実務者会議・・・年12回 延べ420人
所沢市	③	乳幼児健康診査未受診者に対し、受診勧奨を強化し通知及び家庭訪問を実施。対象期間を過ぎて未受診だった者については、こども相談センターに情報提供を行い、虐待リスクについて精査を図った。必要に応じて、支援の必要性を検討している。 医療機関との連携については、支援家庭の連絡や市内産科医療機関と連携会議等を行うことで、連携強化が図られている。 その他、訪問看護ステーション、保育園等福祉部署、教育センター、精神保健担当との連携によるケース支援を実施。平成24年度より、連携強化を目指し、民生児童委員の定例会にて各地区担当が連携依頼を行っている。
入間市	③	要保護児童地域対策協議会担当者会議への参加 12回/年
入間市	③	妊娠期からの虐待予防強化事業により県内医療機関から養育支援連絡票によるリスクのある家庭への支援(見込 55件/年)
入間市	③	要保護家庭の支援に対する関係者による事例検討会 随時
飯能市	③	○個別支援 ・必要に応じて検討会議を開催 ○会議 ・地域子育て支援拠点連絡会議(12回)を開催し、早期連携体制強化を行っている。 ・要保護児童対策地域協議会の開催 代表者会議(1回)、実務者会議(6回)、個別ケース検討会議(随時)
日高市	③	関係機関との個別ケース会議の実施(17回)
日高市	③	日高市要保護児童対策地域協議会の開催(代表者会議年1回、実務者会議年5回)
日高市	③	母子保健担当課が乳幼児健康診査や個別ケース対応等で発見した虐待(疑いを含む)ケースについては、虐待担当課と連携してケース支援にあたっている。

日高市	③	市内関係機関への訪問(小学校 6校、中学校 6校、学童保育室 12か所、保育園 6か所、幼稚園 3か所、認定こども園 1か所)
日高市	③	民生委員協議会家庭児童部会からの依頼による研修会の実施(1回)
保健所	③	・母子保健連携調整会議の開催:年2回(平成30年6月6日13人、平成31年2月26日) 参加者:管内市保健センター職員 ・ふれあい親子支援事業(事例検討会)の開催:年6回(4月26日、6月28日、8月23日、10月25日、12月20日、2月21日)
狭山市(保健センター)	④	思春期対策の推進 平成30年度は実施なし
所沢市	④	学校保健との連携強化をめざし、養護教諭連絡会で保健医療計画「健康の保持・増進」の分野について、周知した。 教育委員会と調整しながら、成長発達や生活の変化が大きい小学校6年生と中学校3年生向けに保健体育等の授業で活用できる教材を作成、配布した。 思春期こころの健康相談(予約制)を実施した。
飯能市	④	○母子保健事業 育児体験学習として母子愛育会に委託し、市内中学生を対象に助産師からの講義「生命の大切さ」、沐浴指導、妊婦体験を実施。7校実施
保健所	④	・子ども(思春期)の心の健康問題研修会の開催:年1回(平成31年2月27日42人) 「思春期の心の問題について考える ～学校の先生だからこそできること～」 参加者:教育関係機関職員、管内市保健センター及び児童福祉主管課職員等
狭山市(保健センター)	⑤	妊娠期からの小児歯科保健対策の推進 妊娠届出時(リーフレットによるPR)、マタニティスクールでの保健指導(7回、延べ71人)、乳幼児健康相談での個別相談(12回、延べ84人)、4か月児健診での歯磨き指導(16回、延べ931人)、1歳6か月児健診での歯科検診と歯磨き指導(16回、延べ947人)、3歳児健診での歯科検診と歯磨き指導(16回、延べ980人)、乳幼児健診の事後フォロー教室「びよんびよんルーム」(12回、延べ25組)
狭山市(保健センター・健康づくり支援課) 狭山市歯科医師会	⑤	むし歯予防デー 歯と口の健康週間にちなみ、保健センターを会場として、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発、歯科健診、相談、歯みがき指導、及びフッ化物塗布を実施。 (来場者:延べ751人 ※うち、フッ化物塗布者数:393人)
所沢市	⑤	地区担当制をとり、地区診断からの地区保健活動計画を立てて、ケースと地区保健活動に取り組んでいる。
飯能市	⑤	○母子保健事業 母親学級で歯科保健指導、乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診に加え2歳児歯科健診で歯科診察、歯科保健指導等を実施している。
日高市	⑤	パパママ教室において歯科衛生士の講義を実施(6回)

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(3)

重点取組	精神疾患医療
目標	早期発見、早期治療を促すため精神疾患に関する正しい理解を促進します。 また、病状やニーズに応じた、適切な医療・福祉サービスが受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる体制づくりを目指します。
主な取組	①精神疾患への正しい知識の普及 ②精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実 ③精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供 ④措置入院者の退院後支援を含む精神障害の地域包括ケアシステムの構築
実施主体	保健所、市、医師会、医療機関、薬剤師会、消防、警察、教育機関、福祉機関、労働機関

実施主体	平成30年度の 主な取組	平成30年度の実績(見込)
狭山市(保健センター)	①	精神疾患への正しい知識の普及 ・自殺対策講演会「命の守り方～子どもと若者の生きづらさを考える～」 講師:東京未来大学 教授・臨床心理士 須田 誠 氏 開催日時:平成30年10月4日実施 対象:市民73人 ・こころの健康講座「精神科医によるこころに優しい落語会」 開催日時:平成30年11月12日実施 対象:市民86人 ・自殺対策研修会「うつや不安な気持ちを抱えた人の支え方、寄り添い方について」 講師:NPO法人 メンタルレスキュー協会 小野田 奈美 氏 開催日時:平成31年3月20日実施予定 対象:市民 定員80人
所沢市	①	・こころの健康講座等の実施 一般市民向け講座 6回 延べ 250人、当事者家族向け講座 2回 延べ 70人 ・各種疾患のつどい(うつ病、強迫性障害、発達障害) 60回 延べ 400人 ・所沢市こころの美術展 4日間 延べ 2,533人
入間市	①	統合失調症講座の実施 2回講座/年 (参加者 延88人)
入間市	①	発達障害者支援事業講演会の実施 「発達が気になるお子さんへの関わり方」 1回/年 (参加者 57人)
入間市	①	精神保健福祉講演会の実施 「発達に特徴のある子の力を伸ばす関わりと空間づくりのコツ」 2回講座/年 (参加者 延153人) 「思春期のこころの理解～精神疾患への気づきと関わり方～」 1回講座/年 (参加者45人)
入間市	①	自殺予防週間街頭キャンペーンの実施 (入間市駅・武蔵藤沢駅にて啓発グッズ2000個)の配布
入間市	①	認知症サポート養成講座の開催(28回開催 延べ1,490人)

飯能市	①	<ul style="list-style-type: none"> ○精神保健事業 <ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくりの集い(講演会:年1回 2月23日 定員50人) ○自殺対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・体制整備:飯能市自殺対策計画いのち・つなげる 策定(基本方針:生きることの包括的支援体制の確立) ・啓発普及事業 <ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくりの集い(人材育成:年1回 2月23日 定員30人) ・自殺予防週間特別展示「いのち・つなげる」 ・自殺対策強化月間特別展示「いのち・つなげる」 ・人材育成:ゲートキーパー(こころの健康づくりサポーター)養成 ○アルコール健康障害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール関連問題啓発講座(年1回 11月9日 参加18人) ・アルコール節酒指導HAPPYプログラム(2回/1クール;実参加者数15人) ・新成人への啓発 (1月13日市成人式にてリーフレット対面配布:300部、一気飲み防止、飲酒運転禁) ○精神保健福祉フォーラム(テーマ:精神障害にも対応した地域包括ケアシステム) ○認知症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマーデーに合わせた特別展示、講演会の実施 ・認知症サポーターの養成
日高市	①	<p>こころの健康に関する教室および講演会:各年1回(31年3月実施予定)。 ゲートキーパー養成講座:年1回、日本ゲートキーパー協会へ講師派遣依頼。 今までにうつ病家族教室に参加した人を対象に月1日うつ病家族交流会を実施。</p>
日高市	①	<p>年2回市内家族会及び近隣医療機関で実施する家族講座、家族会に関する広報掲載を行い、普及啓発に努めた。</p>
日高市	①	<p>平成30年9月より、ヘルプマーク、ヘルプカードの市役所窓口での配布を開始した。</p>
保健所	①	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策公開講座 10月29日「地域支援者のための”こころの相談”パワーアップ講座」73人参加 ・ひきこもり公開講座 11月9日「ひきこもりの理解を深めるために～関わりのポイント～」49人参加 ・関係者向け研修会 2月26日「ギャンブル等の依存関連問題のとらえ方と支援について考える」60人参加(予定)
狭山市(保健センター)	②	<p>精神保健福祉に関する相談窓口の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー研修 <ul style="list-style-type: none"> 開催日時:平成30年7月31日 対象:市職員及び医療福祉関連機関職員65人 ・精神保健相談12件(奇数月開催)平成31年1月時点 (3月末見込 14件) ・こころの相談16件(偶数月開催)平成31年2月時点(予約申し込み時点) ・個別相談(随時) ・相談機関周知用ポケットティッシュの配布(随時)⇒保健センター、市内サービス支援事業所

所沢市	②	<ul style="list-style-type: none"> ・随時相談(メール、電話、来所、訪問)延べ 8,000件 ・精神科医師による精神保健専門相談事業 12回 延べ24人 ・思春期こころの健康相談事業 10回 延べ20人
入間市	②	精神科医によるこころの相談・もの忘れ相談 5回/年 (相談 見込10件)
飯能市	②	<ul style="list-style-type: none"> ○精神保健相談・自殺ハイリスク者への相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・保健師(地区担当制)・精神保健福祉士による随時の個別支援(面接・訪問) ・保健所が実施する措置入院者退院後支援への協力 ○精神保健事業 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士によるこころの健康相談(年4回 予約制 3件/回×4回) ○自殺対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対面相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「うつに関する相談会」(年2回 9月、3月 予約制 3件/回×2回) ・「うつ病体験者と家族の集い」(年6回) ・ピアサポート相談会・交流会(こころの健康づくりの集いに併せて実施) ○アルコール健康障害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・酒害相談会(年12回) ○障害者相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 飯能市すこやか福祉相談センターを2ヶ所増設(平成31年1月 市内2事業所→4事業所) ※すこやか福祉相談センターは、地域包括支援センターと同一の場所に設置し、高齢者・障害者の一体的な相談支援体制とした。 ○認知症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症相談センターの設置、相談窓口の充実(地域包括支援センター委託) ・認知症初期集中支援チームの実施
日高市	②	<p>こころの健康相談:精神科医による相談年6回、1回につき4人に予約制。</p> <p>精神保健福祉士による個別相談:適時。(29年度:面接のべ231人、訪問のべ123人、電話のべ1,465人)</p> <p>その他、地区担当保健師も随時、個別相談にあたる。</p>
保健所	②	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談 精神保健相談:年2回3件、ひきこもり相談:年3回3件(見込) ・精神保健相談 訪問指導:実人員270人、延べ680件、面接相談:実人員370人、延べ800件(見込) ・ひきこもり家族の集い 月1回 計12回実施 延べ100人参加(見込) ・アルコール依存症当事者・家族の集い 月1回 計12回実施 延べ110人参加(見込)
狭山市(保健センター)	③	<p>精神疾患の状態に応じた適切な医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問及び相談に伴い、受診勧奨・受診同行を実施(随時)
飯能市	③	○市訪問看護ステーションで訪問看護(医療保険・介護保険)を実施

保健所	③	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科受療への緊急介入・支援(通年) 220件(見込) ・精神科受診や受療の要否に係る電話相談 3500件(見込)
狭山市(保健センター)	④	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援体制の充実 ・ソーシャルクラブ 年45回実施
所沢市	④	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市精神保健福祉担当者連絡会 1回 40団体参加 出席者66人 ・所沢市自立支援協議会こころ部会 9回 延べ225人 ・福祉事業所と事例検討 14回 延べ172人 ・精神障害者アウトリーチ支援事業の実施 対象者75人
入間市	④	精神保健福祉医療地域連携会議の開催 1回/年 33機関 (参加者 56人)
飯能市	④	<ul style="list-style-type: none"> ○精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの「協議の場」の実施。(年4回) ・飯能市障害者支援協議会に精神保健福祉ワーキンググループを設置。 ※障害者支援協議会構成員には、狭山保健所保健職員の参画をいただいている。 ・精神保健福祉フォーラムの開催(再掲 参加者84人): 障害者支援協議会、介護支援専門員協議会共催 テーマ)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 対象)介護支援専門員、相談支援専門員 ○地域包括ケアシステムの構築 ・介護予防・日常生活支援事業の推進のための協議体の運営(社会福祉協議会委託) ・認知症施策の推進(認知症カフェの充実、認知症初期集中支援チームの実施) ・在宅医療連携拠点はんのうの運営(飯能地区医師会委託)
飯能市	④	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度利用支援事業 ・成年後見支援センターの設置(受託者:飯能市社会福祉協議会) ・市民後見人の養成・フォローアップ ・市民後見推進審議会の開催
日高市	④	ソーシャルクラブ:週1回。(29年度:年47回のべ282人参加)
日高市	④	平成30年度中に、精神保健福祉センター及び狭山保健所で実施された標記システム構築のための会議に担当者を派遣し、ニーズの把握を行った。
保健所	④	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者支援地域協議会(代表者会議) 12月25日 39人参加 ・措置入院者解除後支援検討会議 月2回 計24回実施(予定) ・精神障害者地域支援体制構築会議 12月25日 45人参加 ・精神障害者地域移行支援保健所連絡会 計2回実施 延べ50人参加(予定) ・障害者相談支援従事者専門研修 1月25日「医療と保健・福祉の連携研修」66人参加

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(5)

重点取組	在宅医療の推進
目標	在宅療養を希望する患者が、住み慣れた地域に必要な医療を受けながら生活できるよう医療・介護連携の充実を図り、地域包括ケアシステムの構築を推進します。
主な取組	①在宅医療を支える多職種連携体制の構築 ②医療・介護に携わる職員の人材育成 ③在宅医療に関する県民への普及啓発
実施主体	市、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等

実施主体	平成30年度 の主な取組	平成30年度の実績(見込)
狭山市医師会	①	他職種連携会議を実施
所沢市・医師会	①	医療介護連携会議の運営支援 多職種による連携体制の構築を目指し、地域包括支援センターを中心に開催(市内6ブロック×年2回=計12回)
所沢市・医師会	①	絆ネットとところの開催(多職種連携研修) ・『制度改正と多職種連携』『所沢市における医療と介護の情報連携について』(7月25日 参加者81名) ・『地域でつなげよう緩和ケアの輪』(10月22日 参加者132名) ・『病院から地域へ在宅療養を支えるために私たちができること』(11月28日 参加者100名) ・『高齢者に多いスキントラブルと対応を知らよう～高齢者のスキンケアの決め手は多職種連携～』(2月28日実施予定)
所沢市・医師会	①	在宅療養入退院時連携ワーキンググループの立ち上げと会議の開催 入退院時の連携を平準化することを目的に多職種での解決策の検討を行う(年3回)
入間地区医師会	①	○医療・介護の専門職など、様々な職種の連携推進を図るために、地域包括ごとに多職種連携会議を開催。8地区に年1～2回開催。
狭山市(長寿安心課)	①	在宅医療の関係者(医師会、薬剤師会、歯科医師会、訪問看護、地域包括支援センター、ケアマネジャー等)と、在宅医療・介護連携会議を年6回開催し、多職種連携で障壁となっている事や入退院時に欲しい情報等について、意見交換等を行っている。
入間市	①	医療・介護従事者の連携会議11回開催(参加者460人)
飯能市	①	・多職種連携座談会飯能・日高ワールドカフェの運営支援
飯能市	①	・飯能市東吾野医療介護センター診療所、飯能市国民健康保険南高麗診療所、同名栗診療所による訪問診療、往診の実施と関係機関・多職種連携
飯能市	①	・飯能市訪問看護ステーションによる訪問看護の実施(医療保険・介護保険)
日高市	①	「成年後見制度の活用を考えよう」をテーマにワールドカフェを開催した(多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェ)
日高市	①	管内市、管内包括及び拠点による情報交換会を開催した(在宅医療拠点はんのう)
狭山保健所	①	在宅医療を支える多職種による在宅医療検討会議を開催した。

所沢市・医師会	①、②	情報共有支援 医療介護の多職種連携体制の構築を目的にメディカルケアステーションの普及と相談窓口の開設
所沢市	①、②	医療介護連携会議の開催による関係構築とテーマ別講演及びグループワーク。12回(市内6ブロック×2回)平均約70名参加。
狭山市医師会	②	埼玉県医師会主催の研修会等への参加
所沢市・医師会	②	相談支援 在宅医療・介護関係者に関する相談支援(平成30年4月から平成31年1月までに144件)
入間地区医師会	②	○医療・介護関係者の研修として「診療報酬・介護報酬改定を踏まえた医療・介護の流れ」をテーマに開催。
狭山市(長寿安心課)	②	医師、介護事業者向けに、NUP(うつ・認知症・パーキンソン病)研究会を年1回開催している。
所沢市	②	ICT情報連携ツールの活用研修(個別4回・全体1回)・多職種合同研修(1回・100名参加)
所沢市医師会	②	講演会(1回・132名参加)・ACP研修(1回)
入間市	②	介護支援専門員協会等への委託研修会 4回実施(参加者268人)、医療従事者・介護事業者向け研修 4回実施(参加者474人)、自立支援型ケア会議の実施 12回実施(参加者420人)
狭山保健所	②	施設での在宅療養を希望する患者が、薬剤耐性菌検出歴があってもスムーズに退院できるよう感染防止対策加算1病院とともにパンフレットを作成し、「介護施設における薬剤耐性菌対策研修会」を介護施設職員対象に開催し、周知した。
所沢市・所沢市 介護保険サー ビス事業者連 絡協議会	②、③	講演会「いい人生だったと思うように」(415名うち市民96名)
狭山市医師会	③	在宅医療支援センターコーディネーターによる市民への啓発講座を実施
所沢市・医師会	③	資源の把握と情報発信 『在宅医療機関一覧』『介護老人福祉施設受入一覧』『人工透析医療機関一覧』『理想のケアマネ像』の作成と情報発信
所沢市・医師会	③	市民のつどい 『いい人生だったと思うために・・・平穏死のすすめ』(12月6日 参加者567名)
所沢市・医師会	③	高齢者大学での講師 『いつまでも住み慣れた我が家で・・・知って安心在宅医療』(8月10日 参加者104名)
所沢市・医師会	③	機関紙の発行 「絆ネットとこ」(年2回)
所沢市・医師会	③	あんしん在宅療養支援ガイドの配布 市民や医療・介護職への配布(平成28年度の事業の継続)
入間地区医師会	③	○在宅医療に関する住民啓発として、市内のラジオ放送、リーフレットの市民会館等へ設置、市報の掲載。

狭山市医師会(一部委託)	③	在宅医療の拠点である在宅医療支援センターを利用してもらうために、リーフレットの配付や出前講座等で周知を行っている。出前講座では、拠点の役割を知ってもらう他、終活について考えてもらう講座も行っている。(7回実施。延べ340人参加)
所沢市	③	地域の健康祭り等イベント、市の高齢者向けイベントでの「あんしん在宅療養支援ガイド」やパンフレット配布による普及啓発に努めた。
入間市	③	市民等への普及啓発活動 6回実施(参加者224人)
日高市	③	「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に」をテーマに市民フォーラムを開催した。(多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェ)
日高市	③	飯能市新緑ソーデーマーチに参加し普及啓発につとめた。(多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェ)

第7次埼玉県地域保健医療計画 西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(6)

重点取組	地域医療構想の推進
目標	疾病の発症により必要に応じて高度急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅医療等まで適切な医療が受けられるよう医療提供体制の整備を進めます。
主な取組	①西部区域における医療提供体制の整備の推進 ②医療機能の分化・連携の推進に関する情報収集、提供
実施主体	市、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等

実施主体	平成30年度 の主な取組	平成30年度の実績(見込)
狭山保健所	①	地域医療構想協議会及び作業部会を計3回開催し、医療提供体制のの整備の推進した。
狭山保健所	②	地域医療構想協議会及び作業部会を計3回開催し、医療機能の分化・連携の情報収集、提供をした。